

Pioneer Dj

rekordbox™

Lyric 機能操作ガイド



もくじ

1	ご使用の前に	2
1.1	はじめに	2
1.2	Lyric 機能の概要	2
1.3	動作環境	2
2	アクティベーション	2
3	準備	3
3.1	必要なフォントをダウンロードする	3
4	DJ 機器を使って演奏する	3
4.1	rekordbox と DJ コントローラを組み合わせる	3
5	各部の名称	4
5.1	グローバルセクション	4
5.2	Lyric パネル	4
5.3	ブラウザセクション	6
6	基本的な操作	6
6.1	歌詞を取得する	6
6.2	Lyric を表示する	8
6.3	Lyric の設定を変更する	8
6.4	歌詞を削除する	11
7	環境設定	12
8	オンラインサポートのご利用について	13

1 ご使用の前に

1.1 はじめに

本操作ガイドでは、rekordbox ver.6.0以降のLyric機能、およびそれに関連する機能について説明します。Ver.6.0より以前のバージョンをご使用の場合は、rekordbox.comのFAQよりダウンロードしてください。rekordbox全般に関しては、rekordbox.comのrekordbox操作説明書をご参照ください。

1.2 Lyric機能の概要

Lyric機能をご使用いただくことで、再生中の楽曲に、美しくビジュアライズされた歌詞を連動させたDJプレイが可能になります。

Lyric機能の概要についてはrekordbox.comもご参照ください。

歌詞の取得、およびフォントデータのダウンロードにはインターネット接続環境が必要になります。

1.3 動作環境

対応OS、および必要なシステム（最低動作環境）につきましては、rekordbox.comを参照してください。

一部のPC環境では歌詞が正常に表示されない可能性があります。Lyric機能はサブスクリプションプランを契約していなくても、制限付きで歌詞を表示できます。歌詞が表示されることをご確認の上、サブスクリプションプランをご契約ください。

2 アクティベーション

Lyric機能は、以下の①～③のいずれかの方法でご利用いただけます。

- ① Creative Planをご契約いただく場合：すべてのLyric機能をご利用いただけます。
- ② Core Planをご契約いただく場合：歌詞の表示に制限があります。
- ③ サブスクリプションプランを契約しない場合：歌詞の表示に制限があります。

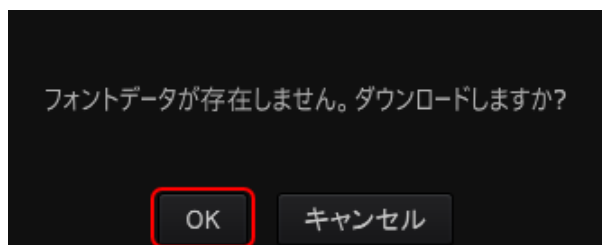
サブスクリプションプランは rekordbox.com からお申し込みいただけます。

Lyric 機能をお使いになるには、最初に[環境設定] > [Lyric] の [Lyric 機能を有効にする]にチェックを入れてください。

3 準備

3.1 必要なフォントをダウンロードする

Lyric 機能を利用するためには、フォントのダウンロードが必要になります。アクティベーションを実行する際もしくはトライアルをお申し込みの際に以下のダイアログが表示されますので、指示に従ってダウンロードしてください。



4 DJ 機器を使って演奏する

本アプリケーションは、コンピューターと DJ 機器 (DJ コントローラや CDJ/XDJ) を USB ケーブルで接続することにより、DJ 機器から操作できます。

対応している DJ 機器は、rekordbox.com で確認してください。

なお、ご使用の際は接続する DJ 機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

USB 接続の条件によっては、正常に機器が動作しない場合があります。これはご使用になっている PC/Mac の USB ポートや USB ハブの帯域などの問題によるものです。USB ハブや USB ポートの位置を変更することで、問題が解決する場合があります。

4.1 rekordbox と DJ コントローラを組み合わせる

操作方法は pioneerdj.com にて各 DJ 機器の[Instruction Manuals]をご確認ください。

5 各部の名称

5.1 グローバルセクション

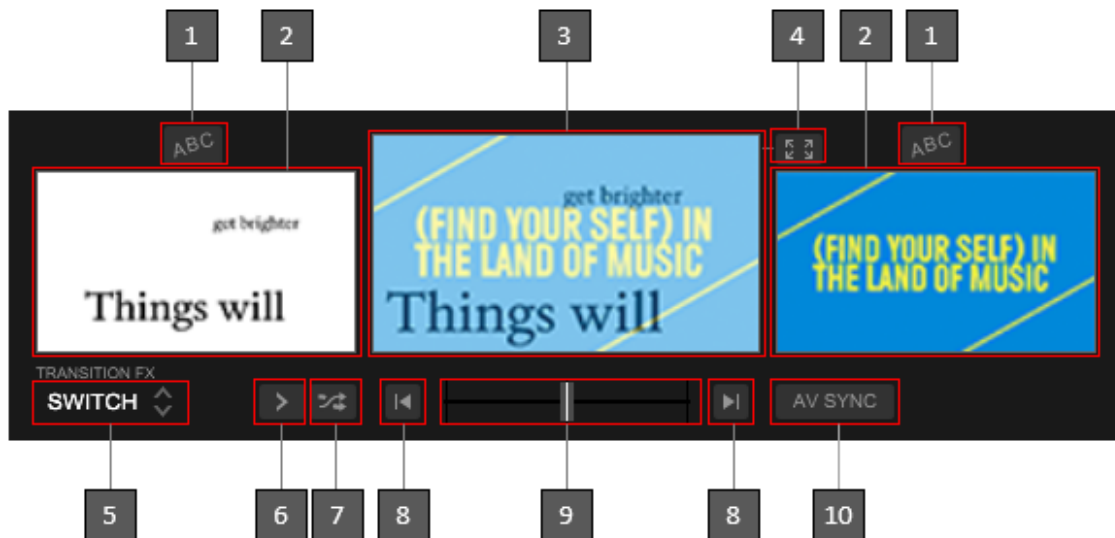
- ・ Lyric 表示ボタン



Lyric パネルの表示/非表示を切り替えます。

5.2 Lyric パネル

- ・ Lyric パネル拡大図



- [1] Lyric 設定ボタン



Lyric の設定を変更します。

- [2] VIDEO DECK 1 / VIDEO DECK 2

ビジュアライズされた歌詞が表示されます。

- [3] プレビュー(MASTER)

MASTER のプレビューが表示されます。

[4] 拡大ボタン



出力ウィンドウをフルサイズで表示します。

[5] TRANSITION FX プルダウンメニュー



TRANSITION FX の種類を選択します。

FADE、SWITCH、GRID から選択できます。

[6] NEXT ボタン



TRANSITION FX の種類をプルダウンメニューの次の FX に切り替えます。

[7] RANDOM ボタン



TRANSITION FX がランダムに選択されます。

[8] AUTO TRANSITION ボタン



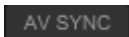
VIDEO CROSSFADER を自動で動かします。

[9] VIDEO CROSSFADER



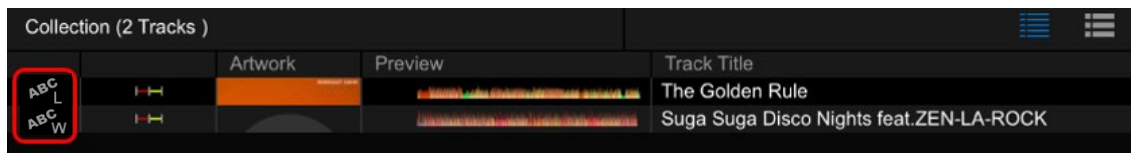
DECK1 と DECK2 のビデオの輝度を調整します。

[10] AV SYNC ボタン(CROSSFADER)




VIDEO CROSSFADER(VIDEO パネル)とオーディオ用 CROSSFADER (MIXER パネル)の連動をオン/オフします。

5.3 ブラウズセクション



歌詞取得済みの楽曲には以下のアイコンが表示されます。

 : Lyric (Word Sync) 単語(Word)ごとに表示時間情報を持った歌詞データです。

 : Lyric (Line Sync) 行(Line)ごとに表示時間情報を持った歌詞データです。

 : Lyric (No Sync) 表示時間情報を持たない歌詞データです。

6 基本的な操作

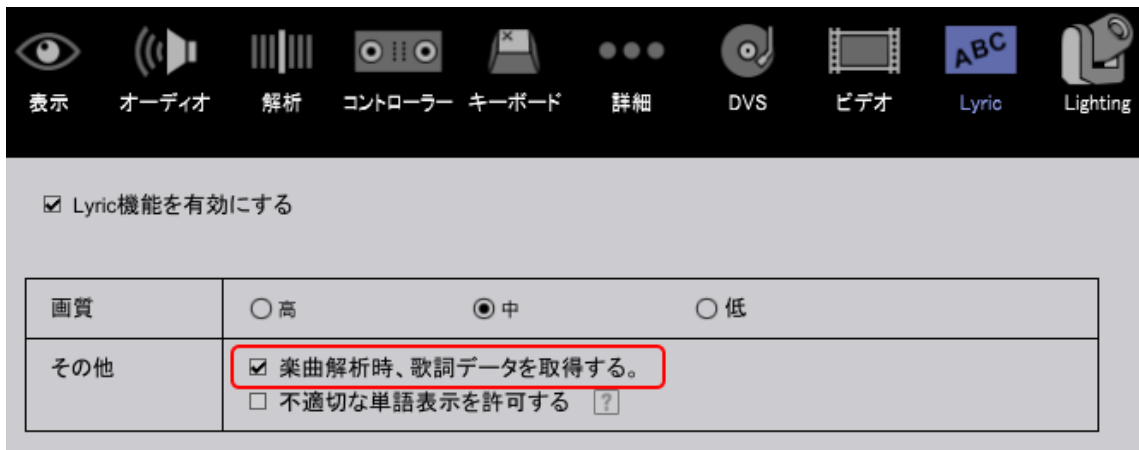
6.1 歌詞を取得する

楽曲ごとに歌詞を取得します。

ブラウザ上の任意の楽曲を選択(複数選択可)し、[コンテキストメニュー]→[歌詞の取得] を選択すると、歌詞を取得します。



[環境設定]→[Lyric]→[その他]→[楽曲解析時、歌詞データを取得する。]にチェックを入れると、楽曲解析時に自動的に歌詞も取得します。



歌詞が取得できない場合、当該の楽曲 1 曲のみをブラウザ上で選択し、[コンテキストメニュー]→[歌詞の取得]を選択すると、以下のウィンドウが表示されます。

歌詞情報は、以下のメタ情報を元に検索を行い取得します。

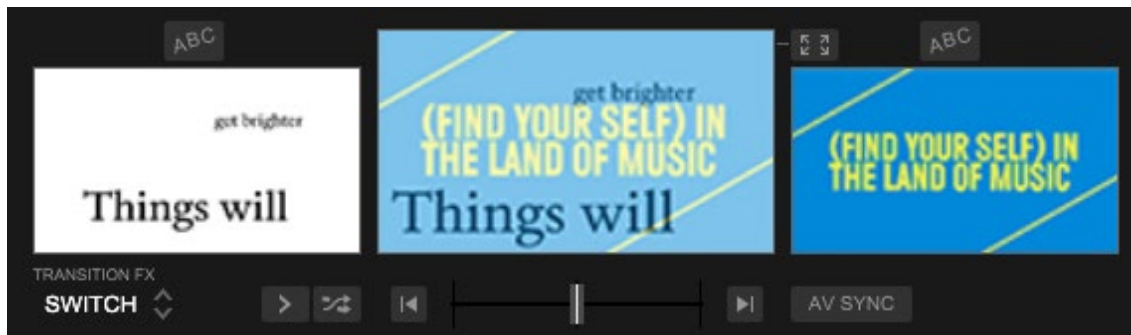
- Artist 名 (必須)
- Title 名 (必須)
- Album 名 (オプション)
- 楽曲の長さ (オプション)

Artist 名と Title 名は必須であり、かつ歌詞サービスに登録されている情報と一致させる必要がありますので、正しく入力されていることを確認してください。

[ちょっと一言]

Album 名と楽曲の長さはオプションになります。もし歌詞が取得できない場合は、オプションの 2 項目は空欄にしてから[Acquire]ボタンを押してください。取得できる場合があります。

6.2 Lyric を表示する

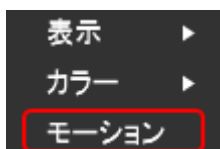


歌詞取得済みの任意の楽曲をデッキ 1 もしくはデッキ 2 にロードします。

Lyric パネル上にビジュアライズされた歌詞が表示されます。

6.3 Lyric の設定を変更する

・モーション設定



取得した歌詞のタイプに応じて Lyric のモーションが変更できます。

- ① 歌詞のタイプが「Word Sync」の場合、以下のモーションが選択できます。
**Focal/ Touch/ Block/ Reverse/ Natural/ Planetary/ Tectonic/ Reflecting/ Glide
Pointer/ Hover/ Slit/ Ripple/ Cycle/ Tilt/ Wind**
- ② 歌詞のタイプが「Line Sync」の場合、以下のモーションが選択できます。
Bend/ Reverse/ Glide
- ③ 歌詞のタイプが「No Sync」の場合、以下のモーションが選択できます。
Torrent/ Thread/ Scroll

・同期補正[msec]

歌詞の開始位置に対してオフセットを挿入することができます。

例えば、以下のように入力することで音楽と歌詞を同期させることができます。

(例 1 : 歌詞を 1.5 秒早めに表示したい) “-1500” と入力してください。

(例 2 : 歌詞を 22.8 秒遅らせて表示したい) “22800” と入力してください。

各設定は楽曲ごとに保存されます。

・カラー設定

Lyric のカラーが設定できます。



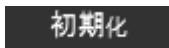
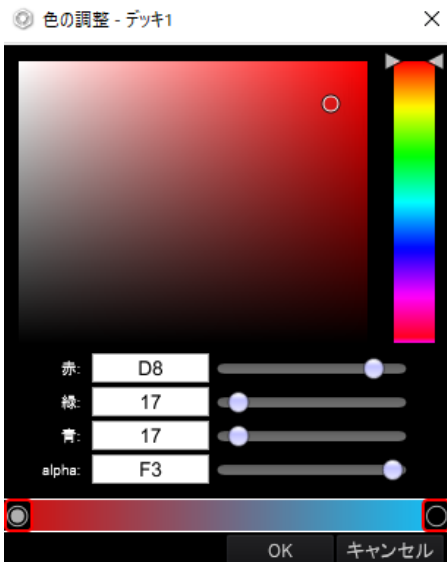


を選択すると、プリセットされた背景色と文字色がセットで設定されます。



を選択すると以下のダイアログが表示され、背景色と文字色が個別に設定できます。

背景色と文字色の透過度をそれぞれ変更することもできます。



を選択するとデフォルトのプリセットカラーに戻ります。

カラーの設定は楽曲ごとに保存されます。

・表示設定



無効にすると、Lyric の当該ビデオデッキへの表示が OFF になります。

6.4 歌詞を削除する

Lyric は歌詞を 3,000 曲まで取得することができます。3,000 曲を超える場合は、すでに取得済みの歌詞をブラウザ上で選択し、[コンテキストメニュー]→[歌詞を削除]を行い、不要な歌詞データを削除してから、再度歌詞取得してください。



7 環境設定

・ Lyric 機能を有効にする

Lyric パネルの表示/非表示を切り替えます。



・ 画質

Lyric の表示画質を高/中/低から選択します。

ビデオ機能の画質設定と共通になります。

ビデオ機能については、rekordbox.com の Video 機能操作ガイドを参照してください。

・ その他/楽曲解析時、歌詞を取得する。

チェックを入れた場合、楽曲解析時に歌詞を取得します。

・ その他/不適切な単語表示を許可する

チェックを入れた場合、不適切な歌詞を含めて表示します。

チェックを外した場合、不適切な歌詞は表示されません。

【ご注意】

設定を変更した場合、すでに取得済みの歌詞を手動で削除した後に、インターネットに接続した状態で再度歌詞を取得しなおす必要があります。

公共の場などご利用いただく場合は、事前に十分ご確認のうえご利用いただきますようお願いいたします。

8 オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox のマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

-
- ・ rekordbox は、AlphaTheta 株式会社の登録商標または商標です。
 - ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Mac および macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
 - ・ Intel および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
 - ・ その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。